様式３(2020.08改)

作成日　令和２年１０月１３日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2375000250
事業所名	サポートハウス東名ながくて

【重点項目への取組状況】

	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	評価
重点項目①	要介護度が低く、元気な利用者が多いことから、地域との積極的な交流が継続している。 地域の防災訓練に参加した際には、ホームや利用者の状況を把握している自治会長が、地域住民に対してホームの説明をしてくれた。 しかし、コロナ禍によってほとんどの地域交流がストップしている。	○
	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
重点項目②	令和2年2月開催の運営会議を最後に、通常の開催がストップしている。 市の担当者の指示を仰ぎ、会議メンバーには電話で情報を伝えて意見を収集している。	○
	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
重点項目③	ホーム周辺の落ち葉清掃やおむつ・パッドのごみ減量に取り組んでおり、運営推進会議に参加した市・長寿課の担当者から感謝の言葉があった。 生活保護受給者が入居することから、市・福祉課の職員とも連携を図っており、地域包括支援センターからは生活保護に絡んだ入居の相談もある。	○
	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
重点項目④	家族の来訪時に意見や要望を聞き取っているが、コロナ禍によりホームへの立ち入りを制限しており、電話や文書で情報を交換している。 新型コロナウイルスの影響の度合いによって面会制限のランクを変更しており、変更の都度、家族にあてて文書を発信して状況を伝えている。	○
	その他軽減措置要件	評価
重点項目⑤	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

令和2年2月開催の運営会議を最後に、通常の開催がストップしている。
市の担当者の指示を仰ぎ、4月、6月、8月は会議メンバーには電話で状況を伝えて意見を収集している。10月も開催を見合わせる公算が大である。

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確　認　事　項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎										